

国民の所得を増やし、家計をあたたため内需主導の経済成長を！

民報



NO.898

2012, 12, 16

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八三三
四三三-四四五八
F 四三三-四四五七

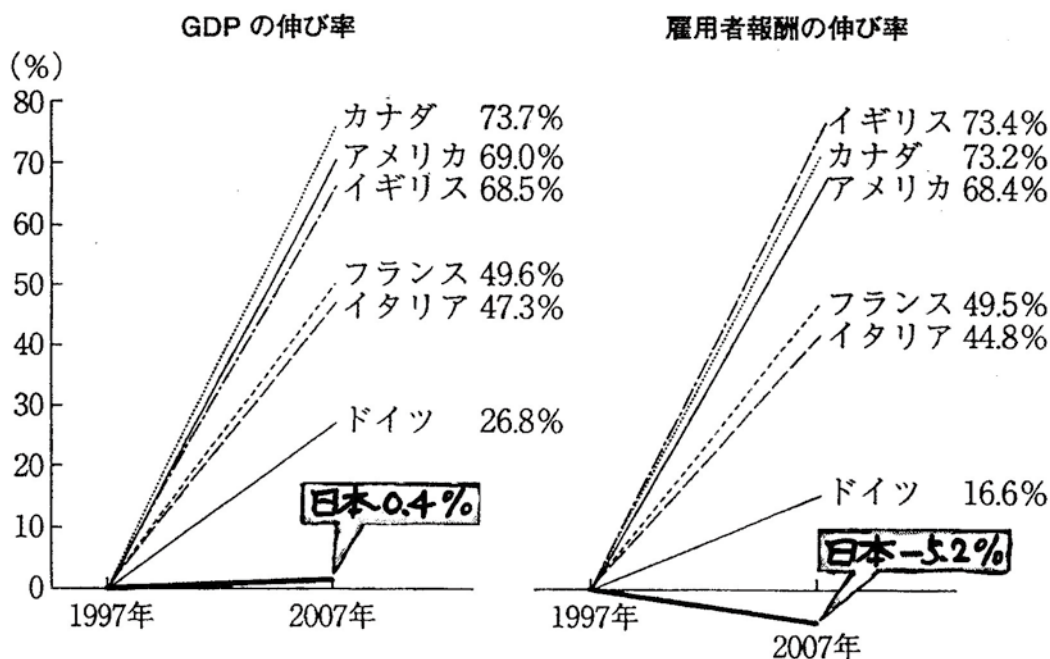


「大企業が頑張らなくて輸出を伸ばせば日本経済は回復する」は、うそです！

資料1を見てください、各国の経済成長（GDP）と雇用者報酬（労働者の賃金）のわかりやすい相関を示しています。各国の経済の成長率は、賃金の伸び率に基本的に比例して

います。それは、国民経済の仕組みの問題から見ると、「内需主導による経済成長」が実現しているということなのです。経済の成長率とはモノやサービスの生産が拡大しただけ、それが実際に売れるかできまいます。売れるのは、買う力（需要）が育っているからです。資料1では、それが実に端

資料 1 GDP、雇用者報酬の国際比較



(資料) IMF, World Economic Outlook Database, OECD, Stat よりデータを取得し作成。日本のGDPについては「平成20年国民経済計算確報」の数値を用いた。
(出所) 志位和夫事務所

「大金持ちに税金を」は世界の流れ

- 「私や友人は億万長者に優しい議会にあまやかされてきた」(米国の投資家=ウォーレン・バフェット氏)
- 「負担増は最富裕層に求めることから始めるべき。中間層に求めるのは恥すべきこと」(イタリアのフェラーリ社会長=ルカ・モンテツェモロ氏)
- 「借金増加がフランスとヨーロッパの未来を脅かすときは、われわれの貢献が必要のはず」(フランスの大企業トップ16名が政府にて提出した連名嘆願書。)

的に、賃金の上昇との正比例という形で示されています。海外への輸出も大事ですが、日本国内でつくられたモノの約8割は依然として国内で売られるのですから、内需をしっかりと育てることが必要です。

国内でモノが売れば経済は成長軌道に乗っていく、そのことは国際的にも歴史的にも実証済みの話です。

日本のように労働者の賃金や社会保障をドンドン減らさず、そのために、国民のものを、買う力（需要）がますます細らされ、それが深刻な不況を長期化させる要因です。

ですから「がまんしよう」、「ぜいたくは敵だ」ではなく、「賃金をあげろ」、「社会保障をもっと豊かに」、「買う力を細らせる消費税増税は絶対反対」と政党、政府や大企業に叫びましょう。「公務員はもう」というのは破綻済み。

90年間も党名を変えない、国民を裏切らない党が必要で、

「公務員たたき」や強力な「独裁」ではなく、「前進か、後退か」でも無く、「国民が主人公の、みんなの手をつなぎ、知恵をあわせる社会です」弱者にやさしい社会です。

今の政治に必要なのは、

流水

私の関わっている読み聞かせの方達の多くは、乳飲み児や幼児を抱え、また共働きをしている人も。小学校のPTA活動をしながら楽しんでる人。反抗期の時期を受け止めながら進学を控え教育費の負担を苦慮し、アルバイトに追われている人も。その合間を読み聞かせに出かけてくる母親達の元気で澆刺としている姿。家事もこなしながら。しかし即動けるのは、数名。明日の支援センターの読み聞かせは70代前後の二人。子ども達も笑顔で待っている。これが気がかりで、出かける。◎学校給食の献立に材料の産地が明示されるようになった。避難してきた親達の、放射能の子どもへの危険”を必死に行政に訴えた結果だ。3, 11の想いは、在網の私達には計り知れない。その想いに寄り添う声を広げる親、大人でありたい。声を最初に出す人の勇気を応援しなければ叶えられない。そうありたいとひたすら願っていても動かなければ、変わらない。◎子ども達のあの”とてつもない笑い声”を、読み聞かせや、給食時間、砂遊びや、グラウンドからも安心して聞いていたいから。今日も、絵本を読む(て)